

### ●事業の概要

この事業は、京都ライオンズクラブ50周年記念事業として、公益信託「京都ライオンズクラブ地域社会奉仕活動助成基金」の助成を受け、社会福祉法人鏡陵福社会（陵ヶ岡保育園）とNPO法人きょうとグリーンファンドが協力して、京都市山科区にある陵ヶ岡保育園の屋根に、市民共同で太陽光発電設備を設置するものです。費用は陵ヶ岡保育園の資金の他、市民からの寄付・きょうとグリーンファンドの基金、京都ライオンズクラブの助成金、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）で賄いました。

京のアジェンダ21フォーラム、京エコロジーセンター、京都府地球温暖化防止活動推進センターの後援、NPO法人気候ネットワーク、NPO法人環境市民の協力をいただきました。

設置後は、陵ヶ岡保育園・きょうとグリーンファンドが協力して、環境に関する学習を進めていきます。

### ●発電所データ

**設置場所：**京都市山科区  
社会福祉法人 鏡陵福社会  
陵ヶ岡保育園  
**設置日：**2004年12月4日  
**発電能力：**5kW 規模  
**発電量：**約5,000kWh/年  
**総事業費：**683万円  
**寄付額：**132件 約93万円  
**寄付募集期間：**2004年8月1日  
～2005年1月31日

### ●社会福祉法人 鏡陵福社会 陵ヶ岡保育園

昭和48年、日ノ岡という山科でも一番に朝日に照らされる所に陵ヶ岡保育園が設立されて30年。地元で農業を営んできた創立者の願いは「みんな なかよく」。それは大きな宇宙の中にある小さなひとりひとりが自然の摂理の中で生かされているということ、年間を通してのイチゴ、じゃがいも、サツマイモなどの収穫行事や給食に使う野菜作りなどを通して子どもたちに伝えてきました。園章は太陽と花をイメージしたデザイン。自然を生かして生かされその恵みに感謝するところの保育と子どもの持っているエネルギーや限りない可能性が表現してあります。みんななかよく安心して集うことのできる保育園でありたいと願う気持ちは、園目標「じょうぶな子ども」「あいさつのできる子ども」「やさしい子ども」となって日々の保育に生かされています。そして生かし続けて行きたいと思えます。

### ●京都ライオンズクラブ

京都の環境を考えるNPOの皆さんの地道な活動を後押ししたいと思いました。私たちは、50周年記念事業の一環として“環境都市京都”のために地道に活動している団体を探していました。そこで、きょうとグリーンファンドの活動に興味を持ちました。単に寄付を募ってソーラー発電機を設置するだけでなく、設置後も環境教育を行い、人々に省エネ・節電や自然エネルギーの大切さを訴えておられるところに強く共感しました。また、大勢の市民に参加してもらいたいという考えをお持ちでしたので、私たちはその考え方に敬意を払い、資金の一部を補助することにしました。「おひさま発電所」は設置した施設から、その発電量に見合う金額をファンドに戻してもらう仕組みなので、施設が増えるほど資金が戻ってきて、さらに「おひさま発電所」が増えていくという期待が持たれます。その初めの段階で少しでもスムーズに活動を行えるよう、お役に立ちたいと考えました。



社会福祉法人 鏡陵福社会 陵ヶ岡保育園

〒607-8429 京都市山科区御陵荒巻町50-1

電話：075-593-3935 FAX：075-593-7923

この冊子は、風力発電による自然エネルギーを使用して、大豆インキで印刷しています。



特定非営利活動法人 きょうとグリーンファンド

〒600-8104 京都市下京区五条通り高倉西入る万寿寺町143

いつつビル6階

電話/FAX：075-352-9150

E-mail：grifan@h7.dion.ne.jp

URL：http://www.h3.dion.ne.jp/kyoto-gf/





この度のおひさま発電との出会いは、まるでそのことが当然であるかのようなタイミングでした。創立30周年の節目でもあり、21世紀に向かって陵ヶ岡保育園は新しい歩みを始めていたところだったからです。未来に、子ども達に何を大切に伝えてゆくのか、それは創立時の初心に帰ることで見つかりました。前園長の農業経験からくる保育内容が、大地の健やかな営みと子ども達の命の育みに通じること、自然への感謝や敬意が豊かな人間性を培うことです。その心を今後にもと、自然のささやきが身近に感じられるよう「やすらぎの木陰づくり」の植樹が始まり、次の計画を考えていたとき、グリーンファンドの事業を知ったのです。日の岡の地名の場所に保育園があることにも支えられてきた今までがあるように感じました。資金面で、京都ライオンズクラブの多大な支援があれば、実現しようとしてもとてつもない時間がかかったことでしょうか。また、たくさんの方がサポーターとして参加してくださいました。

設置した2004年は異常気象が世界中で見られ、先般は京都議定書が発効されて自然エネルギーへの期待がいよいよ高まってきています。おひさま発電の出会いを大切に、地球環境を守ることの輪を少しでも広げ、安心できる子育てを進めて行きたいと思えます。今までの皆様方のご支援に改めて感謝し、これからも見守ってくださいませようよろしくお願い申し上げます。

りょうがおかぼかほか発電所開設おめでとうございます。省エネの推進と自然エネルギーの普及を目指すきょうとグリーンファンドが2001年3月に左京区法然院森のセンターに1号機を設置して以来りょうがおかぼかほか発電所が6号機目になります。今回のプロジェクトには京都ライオンズクラブがその設立50周年記念事業の一環として助成協力をいただきました。多くの善意の寄付金を寄せて頂いた方々共々感謝申し上げます。

点灯式での園児の皆さんのうれしそうなお顔をみるとますます未来から受託したこのただ一つの地球の環境を守っていかうと言う、きょうとグリーンファンドの設立主旨を再び想起させる気がいたします。本年2月16日には記念すべき地球温暖化防止条約京都議定書が発効し、議定書決定の地京都で市民の手で温暖化対策の重要な柱であるクリーンエネルギーを作り出そうという試みはこの条約の精神を率先実行し、「隗より始めよ！」を地でいく物です。りょうがおかぼかほか発電所が単にクリーンエネルギーを作り出すだけではなく地域の環境改善運動の拠点になれますよう、きょうとグリーンファンドも微力ながら協力を惜しまない所存であります。

前園長先生の思い

こどもたちに、自然の恵みに感謝する気持ちを育んでほしい……という思いをもとに土に触れる機会を設けてくださいました。理事長先生の畑でイチゴ狩り、じゃがいも掘り、玉葱ひき……園庭での栽培物のお世話に収穫……給食やクッキングで調理して食べるいつもの食材がとってもおいしく感じられました。



2004年 セミナー

「地球が温暖化すると……。自然エネルギーってフムフム。だから、おひさま発電所をみんなで作るわけなんですね。せんせいやおかあさんたちもまずは勉強。」



2002年 やすらぎの木陰づくり



さくらの木よ……  
げんきになあれ……  
ドクターはっぴと一緒に桜の木に薬を塗ったり土に肥料を入れたりしました。桜の木は元気になり翌年の卒園式にはたくさんの花を咲かせてくれました。  
やすらぎの木陰づくりはじまる……  
卒園児による記念植樹  
すだじい（椎の木なかま）など園庭にはたくさんの緑がふえました。

2004年 エコなまつり

- 環境にやさしい「なつまつり」をめざした今年からは「エコなまつり」と名づけ取り組みました。
- 紙パックのジュースをやめて瓶ジュースに……
  - 冷蔵庫でジュースを冷やすことを止めて保護者の方一人一人に氷を作って持って来て頂くようご協力をお願いしました。
  - できるだけマイスプーン、マイお箸、マイコップを持ってきて頂きました。
  - リサイクル容器を使用しました。



保育園手作りの展示パネル。地球温暖化のこと、おひさま発電所のことをみんなに知ってほしい。そんな思いが詰まっている、なかなかの力作でしたよ。



おひさまのパワーで噴水が……。『あれっ、ここに紙をかぶせるとふんすいがかまるな？！』〇〇マンも興味津々でした。



アンパンマンが見てるよ。おとうさんやおばあちゃんもわりばしやリサイクルトレーを分けて分別ボックスに入れました。トレー用は細長い穴、わりばし用は小さくて丸い穴でしたよ。

おひさま発電所が  
できるまで  
こんなことやってきました

太陽光パネル設置 ～点灯式～



パネルの裏に記念のお絵かき。みんなで太陽光パネルの裏に絵を描きました。描いているうちにだんだんノッてきて、おひさまもいっぱい……。



温暖化の話聞いたシンちゃんは太陽光パネルを家の外側に全部張りました。生ごみだつて土に埋めています。そしてとうとうおひさまマンに変身。温暖化のメカニズムとそれを防ぐ方法を子ども達にも伝えたい、そんな思いから生まれた腹話術のプログラムです。



はじめての「おひさま電気」でクリスマスのイルミネーションが光りました。みんなから思わず拍手がおこりました。子ども達のスイッチ・オンもうまくいきました。



みんなの思いがこもった太陽光パネルは、屋根に並べられて発電し始めます。この日から20年以上発電しつづけるなんて、うれしいですね。

陵ヶ岡保育園オリジナルデザイン  
の表示盤。フルに発電するとため  
きさんと男の子が持っている旗ま  
で光りますよ。5本目の旗が光る  
のをみんな楽しみにしています。